

| 令和2年度第1回奈良市指定管理者選定委員会会議録 | | | |
|--|--|---------------------------------|-------------|
| 開催日時 | 令和3年2月1日（月）午後2時から午後4時まで | | |
| 開催場所 | 奈良市保健所・教育総合センター（はぐくみセンター） 8階 中講座室 8-2 | | |
| 出席者 | 委員 | 瀬川委員、寺田委員、野末委員、米浪委員、佐藤委員【計5人出席】 | |
| | 事務局 | 嵯峨次長、楨田課長、徳岡補佐、砂津係長、梅本 | |
| 開催形態 | 公開（傍聴人0人） | 担当課 | 健康医療部 医療政策課 |
| 議題 | 1 事前承諾事項の確認 2 会議の公開について 3 会議録の署名人について 4 申請団体の出席について 5 奈良市総合医療検査センターの指定管理者の候補者の審査（非公募・書類審査）について | | |
| 決定事項 | ・非公募で指定管理者として申請のあった団体の申請書類について、審査項目表より審査を行い、申請団体を指定候補者として選定することが適当であると決定した。 | | |
| 議事の内容 | | | |
| <p>1. 事前承諾事項の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長は野末委員とする。 ・奈良市情報公開条例第29条に基づき、今回の会議は公開とする。 ・『奈良市総合医療検査センターに係る奈良市指定管理者選定委員会運営要領』、『奈良市総合医療検査センターに係る奈良市指定管理者選定委員会審査要領』及び『奈良市指定管理者選定委員会審査項目表』を基に審査する。 <p>2. 会議録の署名人について</p> <p>奈良市総合医療検査センターに係る奈良市指定管理者選定委員会運営要領第10条第2項に基づき、会議録の署名委員は、委員長と委員長の指名する佐藤委員に決定した。</p> <p>3. 申請団体の出席について</p> <p>奈良市総合医療検査センターに係る奈良市指定管理者選定委員会審査要領第3条第3項に基づき、書類審査で申請団体の一般社団法人奈良市医師会に意見又は説明を聴くために、同団体の出席を決定し、入室させた。</p> <p>4. 奈良市総合医療検査センターの指定管理者の候補者の審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より奈良市総合医療検査センターの指定管理の概要を説明する。 ・事務局より奈良市指定管理者選定委員会の審査方法について説明する。 | | | |

・委員による意見及び質問

委員 5年前も指定管理者選定委員会を行ったが、この5年間で状況が変わっている部分とそれを含めた今後の取組みについて。

申請団体 施設概要は変わっていない。市内の検診は、ほぼ奈良市総合医療検査センターで行っており5年前と比較するとかなり件数が増えている。

また、自主事業が増えている。災害関係については、市と医師会で協定を締結し医療チーム体制を整え災害時に協力できる仕組みを作った。市民向けの機能回復訓練は医療政策課と事業実施している。地域包括ケア事業については、医療機関の医師や看護師と連携し在宅医療介護支援センターの運営を開始した。市民向けの健康講座を行っている。院内感染サーベイランス事業については、保健予防課と協働し、市内の病院から院内感染データの提供を受け集計結果を医療機関に報告して活用している。奈良市データヘルス計画の中のヘルスアップ事業として「糖尿病慢性重症化予防事業」と「COPD事業」を行っている。奈良市骨密度検診データの活用については、医師会で委員会を設立し、医療機関の医師にデータを提供し、情報交換等を行っている。今後は市民に還元していきたい。コロナ対策事業としては、発熱外来や地域外来・検査センターの運営を実施している。

委員 今後の方向性について、より一層充実させていくことでよいか。

申請団体 そのとおりである。

委員 非常時に対する考え方について、災害拠点病院ではBCPを策定する必要があるが、奈良市総合医療検査センターはできているか。

申請団体 奈良市と医師会で協定を締結したが、センターの位置づけはまだはっきりしていないため、今後の課題と考えている。

委員 BCPは災害時に備えて力を入れてもらいたい。

申請団体 市との締結が令和2年3月でしたので内容については、今後考えていく。

委員 利用促進のために行っていることはあるか。

申請団体 建物の構造に限界があり、利用件数の増加が難しいところもある。空いている部屋を利用したり、特定健診を集団で土日に行ったりし工夫している。

委員 利用促進のための広報誌はあるか。

申請団体 特にない。チラシを待合室に設置している。

委員 利用促進のためにも広報誌等を作成してはどうか。

申請団体 医師会報があり、情報等を掲載している。

委員 提案ですが、奈良市総合医療検査センター独自のものがあると良いと思う。
申請団体 今後検討する。

委員 大量にデータを保有しているが、個人情報の管理はどうように行っているか。
申請団体 昨年、基幹コンピューターシステムを更新しセキュリティーを強化した。
USB は認証されたものでなければパソコンに登録できない。また、データの入出力の履歴をとっている。パソコンを起動させるためにパスワードの入力を必要としている。

委員 個人情報の管理について、職員へのコンプライアンス（研修）は行っているか。
申請団体 年1回の全体会議や個別会議で周知している。個々人の個人情報に対する意識を高めるため、今後は e-learning での研修を予定している。

委員 検査課のコスト削減のため、FMS 契約を行ったようだが独自で行ったものなのか。
申請団体 画期的な取り組みだと思っている。
申請団体 会員からの検体受託数が減ってきている。民間の競合に追随できないため、検査部門の縮小や閉鎖も検討したが、FMS 契約を導入して存続させることになった。

- ・ 審査項目表により採点
- ・ 委員の審査項目表を集め、事務局で集計
- ・ 委員による採点集計表の確認
- ・ 事務局から採点集計の報告
- ・ 書類審査の結果に基づき、一般社団法人奈良市医師会を当該施設の指定管理候補者として選定することが適当であると決定した。